



お困りのときは
こちらへ……
p2

グルコース値の
測定……
p3

センサーの
交換……
p4

過去の履歴が
見たい……
p6

こんなときは
血糖値を測定
p7

血糖トレンドを
確認したい
p8

Q & A
p10

FreeStyle リブレ

はじめてガイド



製品をご使用の際は、必ず添付文書と取扱説明書をあわせてご確認ください。



お困りのときはこちらへ

お客様
相談窓口

0120-37-8055

営業時間 8:00-20:00 (平日) 8:00-17:00 (祝日) ※土日除く

製品情報
サイト

フリースタイルリブレ

検索

<https://www.myfreestyle.jp/>

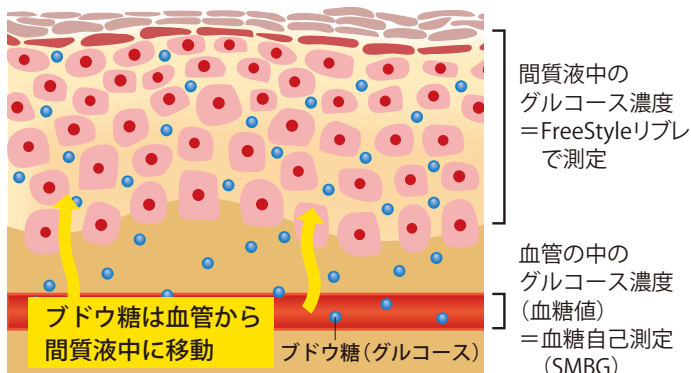
使用方法
動画

患者さん・ご家族の皆さま向けサイト内で
サポート ▶ **使用・活用方法動画一覧** より確認できます。
<https://www.myfreestyle.jp/patient/support/movie.html>



FreeStyle リブレの特徴

- **グルコース値の測定**は、**センサー**をスキャンして行います (▶ p3参照)。
センサーとReaderを **4cm 以内に保持すれば服の上からでも測定可能**です。
センサーには過去8時間分のグルコース値の記録が保存されています。少なくとも8時間に1回の測定で連続的なデータが記録できます。
- 装着したセンサーは **14日後に交換**する必要があります (▶ p4 - p5参照)。
- センサーは**耐水性**で、水深1メートル、30分間までは問題なく使用できます。装着したままの**入浴、シャワー、水泳なども可能**です。
- ブドウ糖は初めに血管、次に間質液中に移動します。FreeStyle リブレでは、間質液中のグルコース濃度を測定するため、血液中のグルコース濃度である血糖値と5～10分程度のタイムラグが発生する可能性があります。



グルコース値の測定

毎日すること

1

ホームボタンを押してReaderの電源を入れます。



2

画面に「**センサーをスキャンしてグルコース値を測定します**」と表示されていることを確認してください。



3

Readerをセンサーに近づけて、グルコース値をスキャンします。



4

現在のグルコース値と過去8時間分の変動を示すグラフなどが表示されます。



少なくとも8時間に1回の測定で連続的なデータが記録できます。

お困りのときは
こちらへ

測定 グルコース値の

交換 センサーの

見たい 過去の履歴が

血糖値を測定
こんなときは

確認したい 血糖トレンドを

Q & A

センサーの交換

2週に1回すること

使い終わったセンサーの取り外し

センサーの**使用期間が終了する前に必ずセンサーをスキャンして**
グルコース値を記録してください。



Readerに「センサー終了」と表示されたら、
センサーの粘着部の端を引き上げてセンサーを取り外します。

※皮膚に残った粘着剤は温かい石鹸水またはアルコール綿で拭き取ってください。

新しいセンサーの装着

- ・センサーパックとセンサーアプリーケーターのセンサーコードが一致していることを確認してください。
- ・センサーパックまたはセンサーアプリーケーターに破損が見られたり、開封されている場合は使用しないでください。



センサーパック



センサー
アプリーケーター

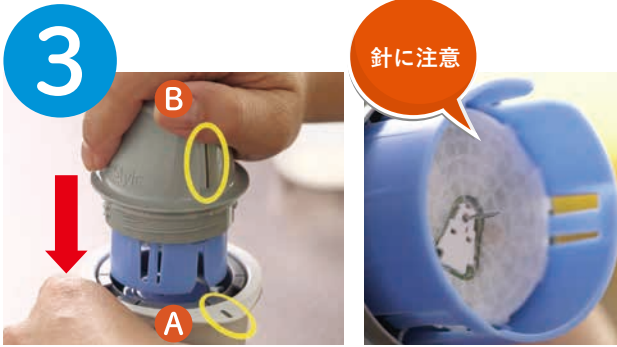


石鹸と水で清浄してからアルコール綿で上腕の後ろ側を拭き、しっかり乾かします。

※センサー装着部位としてほくろ、傷跡などは避けてください。



センサーパック（以降**A**）のフタをはがし、センサーアプリーケーター（以降**B**）のキャップを回して外します。



テーブルなど平らで硬い場所の上で、**A**の黒線マークに**B**の黒線マークを合わせ、**B**を**上から強く、止まるまで押し下げます**。
Bを持ち上げて準備完了です。



Bを腕にあて、センサーが装着されるまで**下までしっかりと押し込み**、その後、そっと引き離します。



しっかり装着されていることを確認してください。



センサーを装着したら、Readerのホームボタンを押して電源を入れ、「**新しいセンサーを起動**」をタッチします。

※センサーが終了する前に新しいセンサーに交換した場合は、いつものグルコース値測定と同じ方法でスキャンしてください。



Readerをセンサーに近づけてスキャンします。

※正常にスキャンされないと、再度スキャンを促すメッセージが表示されます。OKボタンをタッチしてホーム画面に戻り、再度「新しいセンサーを起動」をタッチするところから操作してください。



センサーの起動が完了するまで60分間待ちます。その後、グルコース値の測定が可能になります(▶p3参照)。

センサー装着初日はセンサーによる測定値と血糖値との差が大きくなる場合があります。測定値の正確性に疑問がある場合には、添付文書の「使用方法に関連する使用上の注意」を参照してください。

過去の履歴が見たい

1

Readerのホーム画面で
「履歴を見る」をタッチする。



2

矢印(▲▼)をタッチして
履歴オプションを表示し、
確認したい項目をタッチする。

履歴を見る

履歴

日内グラフ

平均血糖値



1 / 2



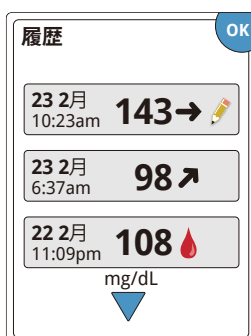
日内パターン

目標範囲内であった時間

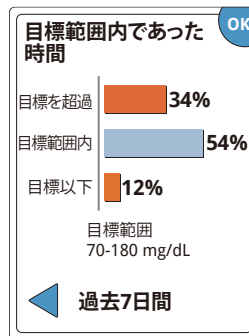
低血糖イベント

センサーの使用量状況

履歴オプション例



- ↑ グルコースが急速に上昇 (1分あたり 2mg/dL 以上)
- ↗ グルコースが上昇 (1分あたり 1 ~ 2mg/dL)
- グルコースがゆっくりと変化 (1分あたり 1mg/dL 未満)
- ↘ グルコースが低下 (1分あたり 1 ~ 2mg/dL)
- ↓ グルコースが急速に低下 (1分あたり 2mg/dL 以上)



間質液中のグルコース値や指先測定での血糖値、ケトン体値などが確認できます。なお、数値右の矢印はグルコース値が推移する方向を示します。

目標グルコース値の範囲より高い、低い、もしくは範囲内にあった時間の割合が確認できます。

こんなときは血糖値を測定

血糖自己測定 (SMBG) が必要な場合

SMBG : Self-Monitoring of Blood Glucose



グルコース値トレンド矢印 **↑** または **↓**



低グルコース

(グルコース値が 70mg/dL より低い)

グルコース値が低下

(グルコース値が 15 分以内に 70mg/dL より低くなると予測)

測定結果と一致しない症状がある、または測定値の正確性に疑問がある時



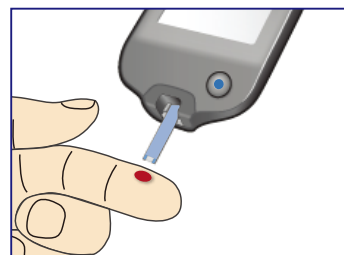
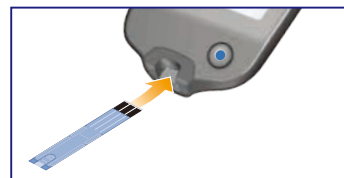
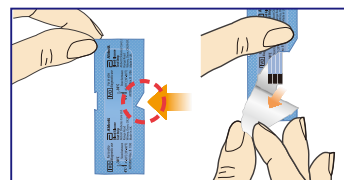
LO (測定値が 40mg/dL より低い) **HI** (測定値が 500mg/dL より高い)



Reader 画面に表示されます

FreeStyle リブレの血糖自己測定 (SMBG) の方法

- 1 手と測定部位をアルコール綿で拭き、乾かします。
- 2 電極の使用期限を確認します。
- 3 電極のホイル包装を切れ目から破り、電極を取り出します。
※取り出した後はすぐに電極を使用してください。
- 4 電極の先端にある黒い3本線を表に向けて、Readerの電極挿入口に差し込みます (止まるところまで)。血液滴下マークが表示されます。
- 5 穿刺器具を用いて血液を1滴採取し、電極の先端にある白い部分に付けます。
十分量の血液が付着すると、画面には蝶が表示され、約5秒後に測定結果が表示されます。
血糖の測定範囲は 20～500mg/dL です。
※血糖電極を使用しても、LOやHIが表示された場合は医師に連絡してください。
- 6 測定結果を確認後、使用済み電極を抜き取り、廃棄します。
※開封済みの包装を使って抜き取ると、廃棄の際に便利です。



血糖トレンドを確認したい

データ管理ソフトウェアをダウンロードすると、血糖トレンドのレポートが確認できます。

FreeStyleリブレデータ管理ソフトウェアのダウンロード

1

「フリースタイルリブレ」で検索し、“患者さん・ご家族の皆さま向け”サイトを開き、タブから「**使用方法**」⇒「**AGPレポートを印刷する**」をクリックします。

2

お使いのパソコンに合わせて、データ管理ソフトウェアをダウンロードしてください。

Windows用のダウンロード →

Mac OS用のダウンロード →



- 接続には測定器本体に付属のケーブルをご使用ください。
- 測定器データのコンピュータへの保存は、PDF形式(レポート画面)もしくはテキストファイル形式でのみ行うことができます。本ソフトウェア内には記録されません。

【システム要件】 2018年6月現在

- Microsoft Windows 7 (32 または 64 bit)
- Microsoft Windows 8 (32 または 64 bit)
- Microsoft Windows 10 (32 または 64 bit)
- macOS High Sierra

レポートを作成することで

- ① 低血糖リスクの有無
- ② 目標範囲と自身のグルコース値との比較
- ③ 1日のうち血糖値の変動が大きい時間帯
- ④ ある時間帯の血糖値のばらつき

などが確認できます(レポート例参照)。

医療機関にレポートを印刷して持参するとき

1

Reader とパソコンをUSBケーブルで
接続します (USBケーブルは
充電時に使用するものと同じもの)。



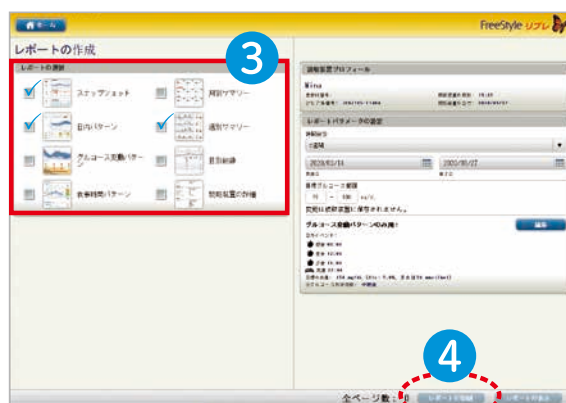
2

パソコンにダウンロードした
データ管理ソフトウェアを立ち上げ、
「レポートの作成」をクリックします。



3

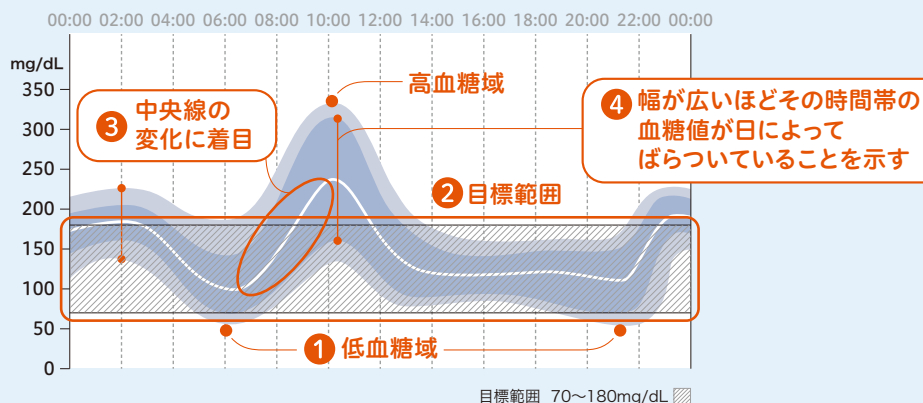
作成したいレポートを選択します。



4

「レポートの印刷」をクリックします。
※印刷設定はお使いのプリンターに合わせて調整ください。

レポート例 (「日内パターンレポート」から確認できます)



FreeStyle リブレ Q & A

Q 使い終わったセンサーの処分は？

センサー内部にはボタン電池が内蔵されています。
地域の規則あるいは各医療機関の指示に従って廃棄してください。

Q センサーを装着したままできる？

入浴
シャワー
水泳

いずれも可能で、水深1メートル、30分間までは
問題なくご使用いただけます。
ただし、Readerは水に濡らさないよう注意してください。

X線
MRI
CTスキャン

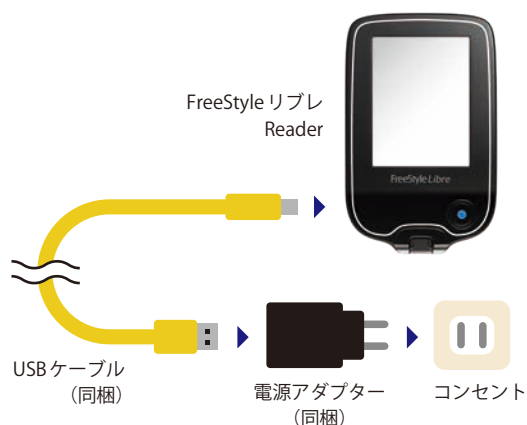
これらの検査がセンサーにどのような影響を及ぼすかについては
評価されていません。検査を受けるときはセンサーを取り外し、
検査後は新しいセンサーを装着してください。

飛行機の
搭乗

セキュリティシステムを通過する際には、
保安検査係員にFreeStyle リブレを装着していることをお伝えください。
センサー自体は、装着したまま
セキュリティシステムを通過することは問題ありません。
機内ではセンサーでのスキャンは行わないようにしてください。
規則や規制は、通告なく変更される場合があるため、
ご出発前に航空会社にご確認ください。

Q Readerの充電方法は？

Reader、USB ケーブル、
電源アダプターを右のようにつなぎます。
充電したReaderは約7日間使用可能です。



Q 目標値や日付を変更するには？

設定シンボルをタッチ



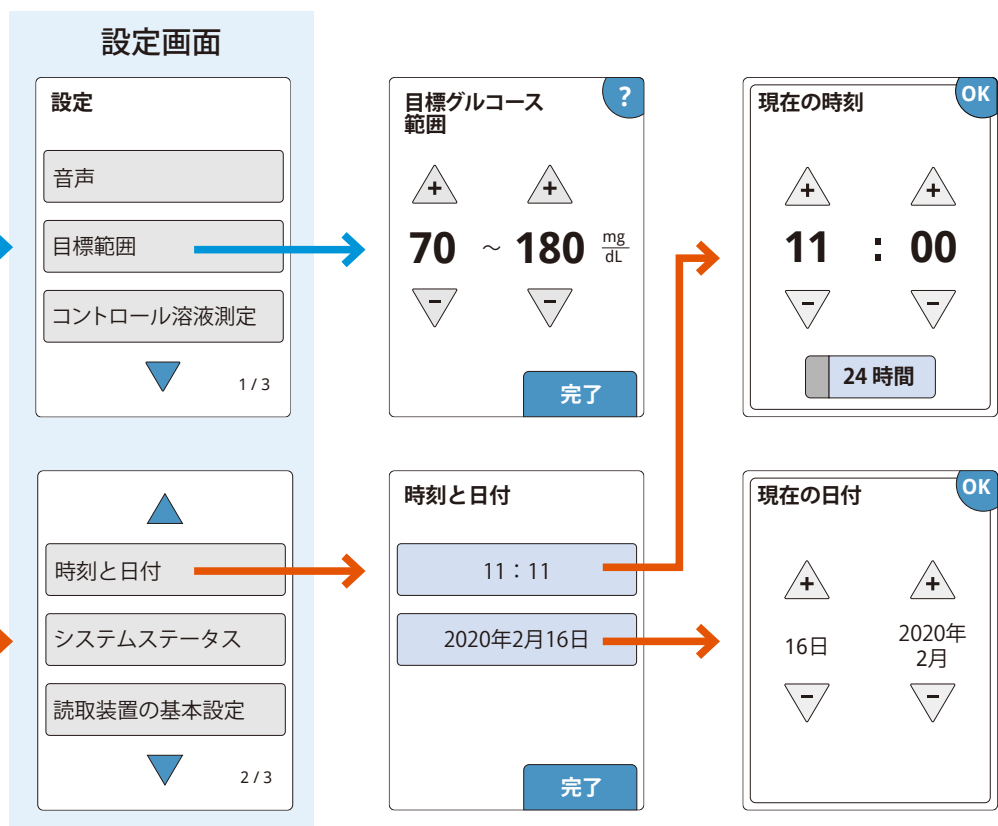
目標グルコース
範囲を
変更したい

日付、時刻を
変更したい

ホームボタンを押して左の画面が表示されたら
右上の「**設定シンボル** ⚙️」をタッチしてください。
変更したい項目を選択して、タッチスクリーンの▲、▼で、
日付、時刻、目標グルコース範囲を設定します。
最後に「完了」をタッチします。



押す



※目標グルコース範囲は医師と相談して決定してください。

Q Readerのメモ機能ってなに？

インスリン注射の単位数や、
摂取した炭水化物のグラム数などを
記録・保存することができる機能です。
メモ機能が使えるのは、
スキャン後15分以内の最新の測定値のみです。



当社製品の取扱方法や修理のご相談など、ご不明な点は
下記お客様相談窓口にご相談いただくか製品情報サイトをご参照ください。

お客様
相談窓口

0120-37-8055

営業時間 8:00-20:00 (平日) 8:00-17:00 (祝日) ※土日除く

製品情報
サイト

フリースタイルリブレ

検索

<https://www.myfreestyle.jp/>

使用方法
動画

患者さん・ご家族の皆さま向けサイト内で

サポート ▶ **使用・活用方法動画一覧** より確認できます。

<https://www.myfreestyle.jp/patient/support/movie.html>



ご確認いただける動画 (一覧)

● FreeStyle リブレ使用方法

- ・センサーの装着
- ・新しいセンサーの起動
- ・グルコース値の確認
- ・メモの追加
- ・履歴を見る
- ・センサーの交換
- ・SMBGが必要な場合
- ・FreeStyle リブレを用いたSMBG

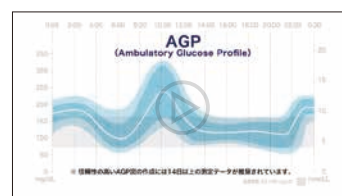
● FreeStyle リブレ ソフトウェア使用方法

- ・インストール方法
- ・使用方法
- ・レポートの種類

● AGP

- ・AGP とは
- ・AGP の読み方

● よくある質問



本社:
アボットジャパン合同会社
ダイアベティスケア事業部
東京都港区三田 3-5-27

製造販売元:
アボットジャパン合同会社
ダイアベティスケア事業部
千葉県松戸市松飛台 278

販売名: FreeStyle リブレ 承認番号: 22800BZX00212000
販売名: FS フレッシュ血糖測定電極 承認番号: 22600AMX01286000
販売名: β-ケトン測定電極Ⅲ 承認番号: 22300AMX00567000



life. to the fullest.®

Abbott